平成 16 年 3月期　第3四半期業績の概況(連結)

平成 16 年 2 月 13 日

上場会社名　株式会社 中 村 屋　(コード番号:2204 東証・大証第1部)
(URL http://www.nakamuraya.co.jp/)
問合せ先　代表者名　取締役社長　長 沼 誠
責任者名　専務取締役　小山田 信 義　(TEL: (03) 5454 - 7125)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項
売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 売上高

(百万円未満切捨)

	売上高	前年同期比
	百万円	%
平成16年3月期 第3四半期	32,180	1.4
平成15年3月期 第3四半期	31,738	-
(参考)平成15年3月期	42,868	-

(注)売上高については、当該四半期の累計値であります。

「売上高に関する補足説明」

当該第3四半期までのおけるわが国経済は、企業収益の好転や株式市況の持ち直しなど一部に景気回復の兆しが見られたものの、依然としてデフレ経済の継続、金融不安、雇用情勢の悪化により個人消費の低迷が続いており、厳しい経済環境で推移いたしました。

このような状況のもとで、当グループでは、市場変化や競争に対応できる事業構造への変革推進と、ローコスト構造改革を更に推進し、マーケティング競争力の強化に積極的に取り組みました。

その結果、当該四半期の業績については、コンビニエンスストアー向け商品や市販食品市場を対象としたレトルト食品の堅調さもあり、連結売上高は 32,180百万円となり、単体ベースで前年をクリアー、連結ベースでも計画を若干上回るなど順調に推移し、年間の予測数値に対しましては約75%の達成率となっております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

金融不安の続くなか、資金調達手段多様化の一環として、低金利の長期資金を直接金融により将来の資金需要に備えるため、平成15年3月28日開催の取締役会決議に基づき、無担保私募債を発行いたしました。

「概 要」	発行総額	2,000百万円
	発行期日及び期間	平成15年4月8日(5年間)
	利率	年 0.84 %
	償還期限及び方法	平成20年4月8日(一括償還)
	引受先及び管理委託先	株式会社 みずほ銀行

3. 平成16年3月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	43,400	1,850	740	12 40

(参考)平成16年3月期の個別業績予想　(平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日)

	売　上　高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり年間配当金		
				中　間	期　末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通　期	41,200	1,800	750	－ －	8 50	8 50

「業績予想に関する定性的情報等」

今後の見通しにつきましては、一部に株式市場の回復による消費者マインドの冷え込み改善などの期待ができるものの、本格的な景気回復の兆しは見えず、依然として厳しい経営環境が続くものと思われます。

この様な環境のなかで、当該四半期における業績は順調に推移しており、売上高、利益とも前回発表(平成15年11月25日中間決算短信)の通期業績予想について上記のとおり修正をいたします。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、業績については今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。